

基本計画PR動画企画・制作委託契約 プロポーザル 参考資料

神戸市企画調整局政策課



2025年12月19日

基本計画を策定するためのワークショップ 中間報告資料

目次

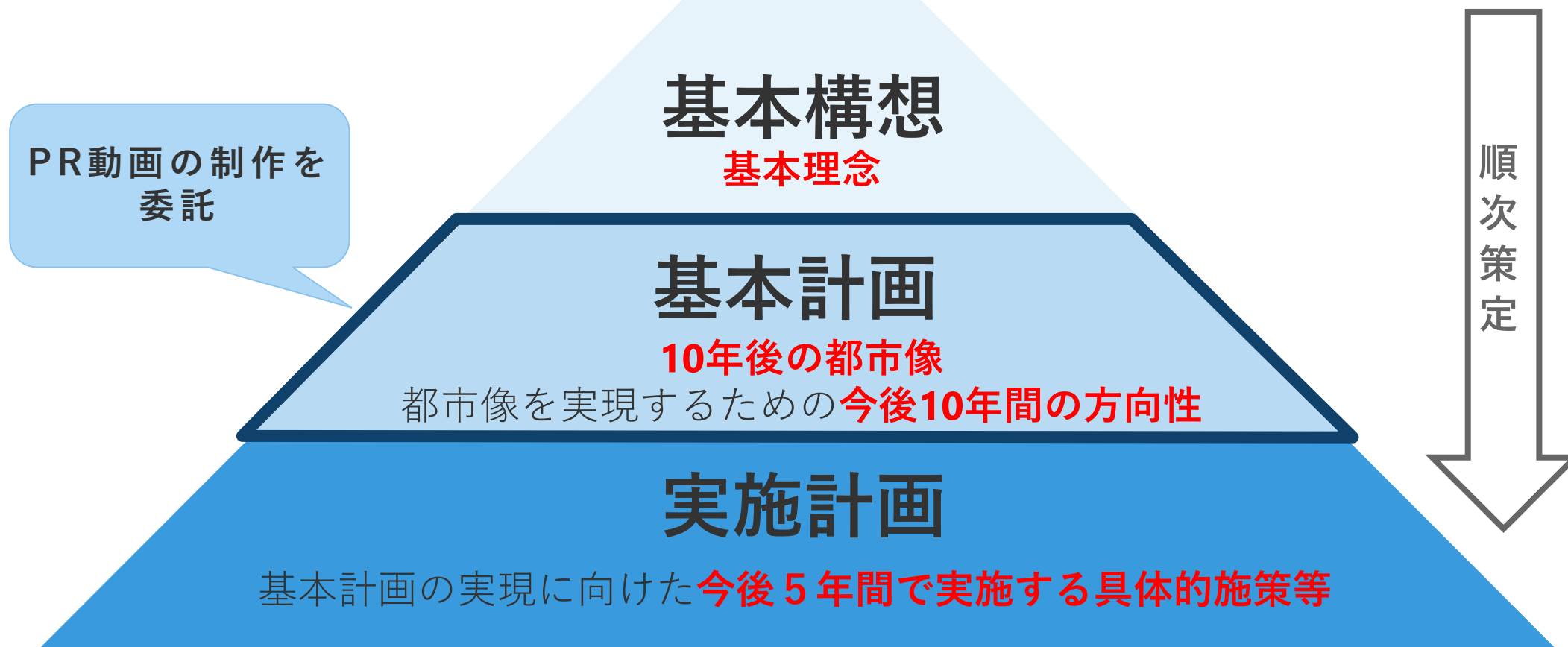
- | | |
|-----------------|---------|
| 1. 取組の全体像 | P. 3 ~ |
| 2. 動画に込めたいメッセージ | P. 13 ~ |
| 3. 参考_意見の反映状況 | P. 19 ~ |

1. 取組の全体像

- I. 総合基本計画の体系
- II. 基本計画策定の流れ
- III. 意見収集の取組
- IV. 参考：神戸市基本構想

I. 総合基本計画の体系①

- 現行計画が2025年度に終期を迎えるため、新たな総合基本計画を作成中
- 2024年12月には約30年ぶりに「基本構想」が策定された



I. 総合基本計画の体系②（基本計画の構成）

BE KOBE

10年後の都市像

目標

10年後の都市像

自然も都会も、歴史も未来も、仕事も余暇も、安らぎも挑戦も・・・
～すべての望みに手が届くまち・神戸～

神戸空港や神戸港は、世界とつながる玄関口。そこには、絶えず人とモノが集まり、多様な文化と活気が行き交う。

都心には、おしゃれで心地よい雰囲気と、温かなもてなしの心が広がる。周辺には便利で快適な交通網が整い、新たな人々が次々と訪れ、活発な交流が生まれることで、まちの魅力はさらに増していく。

郊外へ足を伸ばせば、魅力的な駅を中心に、それぞれの理想のライフスタイルが形となり、ゆとりと上質なくらしが広がる。

山から望めば、先人から受け継いだ自然豊かな農村や里山、古くからの景勝地が悠然と広がり、夜には世界に誇れる美しい夜景が街を幻想的に彩る。海に向かえば、港町の歴史と文化を感じながら、ジャズの音色に身をゆだね、贅沢な時間に包まれる。

ビジネスシーンでは、最先端のアイデアと熱意が交差し、新たな価値が次々と芽吹き、未来を切り拓く力がみなぎる。

街のいたるところで、異なる世代や多様な人々が集い、支え合い、こどもの笑顔と人の温もりがまちに安らぎをもたらす。

人々の暮らしは、たくましく築かれたまちの礎によって守られ、それぞれの環境を思いやる行動が、次世代の安心を生み出す。

そして、まちの誇りが、人々に根付く神戸を愛する心によって育まれ、次代に紡がれていく。

都市像を実現するための方向性 基本構想で謳う3つの「神戸らしさ」を活かした 戦略

「海と山に囲まれた美しいみなとまち」を活かして

方向性① 世界と繋がる2つの港「新たな時代の国際都市」へ

神戸は、古くから外国との交流によって、多様な文化や気風を取り入れながら、まちを発展させてきました。空港の国際化により、神戸は国内外との技術・文化を取り入れ、神戸の強みと融合させることも「海と山に囲まれた美しいみなとまち」を守り育つ持続的な発展を目指します。

多様な文化や人との交流を促進し、グローバルに想いを胸に世界へ羽ばたいていく流れを加速させて、また、海と山が織りなす美しい風景や豊かな自然、ターフフロント再開発による相乗効果を活かし、さらに、国内外から集まる多様な人材や企業と、

「多彩な表情をみせるまち」を活かして

方向性② 個性豊かで多様な地域の融合 「日常と非日常が交わり続ける都市」へ

神戸の地理的特性や歴史の中で形作られた個性豊かなまちなみや、豊かな自然は、神戸ならではの魅力です。今後、全国的に人口減少が進む中でも、先人たちがこれまでの歴史の中で築いてきた貴重な財産を最大限に活かし、磨いていくことで、将来世代が充実したライフスタイルを送ることができるよう、これからも「多彩な表情を見せるまち」を守り育てていきます。

「人間らしいあたたかみのあるまち」を活かして

方向性③ ともに乗り越え育んだ絆 「いつまでも幸せを感じ、分かち合える都市」へ

これまでの歴史によって培われた進取の気風や、ともに災害を乗り越えてきた絆は、神戸のまちと人に受け継がれてきました。今後、先行きが不透明な変化の激しい時代においても、誰もが寄り添って助け合い、そして、新たな挑戦を続けていくことで、いつまでも「人間らしいあたたかみのあるまち」を守り育てていきます。

神戸の未来を担う子どもたちをはじめ、性別、年齢、障がいの有無、民族、国籍に関わらず多様な主体や団体が、地域の中でつながり、支え合いながら、誰もが安心して、それぞれの夢に向かって自由に挑戦でき、主役になれるまちを目指していきます。

また、子育て・教育環境の充実、健康・福祉の増進や、安全で快適な住環境を支えることで、一人ひとりの笑顔を育み、誰もが安心して健やかで心穏やかに暮らせる環境をつくります。

さらに、新たなテクノロジーと先端技術を積極的に取り入れながら、地球環境への貢献や次代をリードする防災力を強化し、より豊かで質の高いくらしを実現させます。

そして、それらの取り組みを世界に発信することで、震災で頂いた多くの支援に、いつまでも感謝の気持ちを忘れることなく、国内外に貢献していくまちを目指します。

II. 基本計画の策定の流れ

基本計画は「10年後の都市像」と「都市像を実現するための方向性」の2つの構成に分かれています。それぞれの内容についてワークショップ等を通じて、多くの方からご意見を頂きました。



Ⅲ. 意見収集の取組（取り組み実績）

2024年度（計画“たたき台”の作成に向けて）

	回答・参加者数	時期
WEBアンケート	9,318人	7/18～9/18
体験型ワークショップ （計9回）	198人	7～11月

基本計画策定議論に参画した
市民・関係者の総数

51,026人

+ 審議会委員25人

2025 年度（計画“たたき台”のブラッシュアップ）

	回答・参加者数	時期
第一弾 （方向性）	ワークショップ等 : 2,340人(53回)	5～8月
	WEBアンケート : 3,211人	6/20～8/4
第二弾 （都市像）	ワークショップ : 1,597人(53回)	8～10月
	はじめての市政参画※: 32,552人	9/8～10/8
	WEBアンケート : 1,810人	9/16～10/17

※はじめての市政参画：GIGAスクール端末を活用した市内小中学生等からの意見収集事業

III. 意見収集の取り組み（第1弾ワークショップの内容）

第1弾のワークショップは、前半に神戸の歴史や現在の取り組みを知り、後半ではグループに分かれて10年後の神戸を想像し、そのうえで基本計画のたたき台について議論を行いました。

STEP① まちの歴史や現在の取り組みを知る

(1) 神戸の経済発展

①開港とともに発展したまち

- 1863年、日米修好通商条約により開港開港決定
- 1864年、神戸内の開港により神戸海軍工廠開港
- 1868年1月1日 神戸開港

開港当時の神戸港の風景

(3) 神戸の都市開発

①これまでのまちづくり

「山、海へ行く」の都市開発

- 1950年代の高度経済成長
産業の新規用地・住宅地の不足
- 山と海の開発
山：住宅用地、ニュータウン
海：埋立地（ポートアイランド、六甲アイランド）

神戸市が描くまちづくり

3つの再生を一体的に進め、「真に持続可能な大都市」へ

(4) 森林・里山の再生 (1/2)

江戸時代後期 明治時代 1910年ごろの再度山

現在の六甲山

STEP③ 基本計画の「方向性」について、共感する箇所、もっとワクワクするために必要な言葉を考える

ワクワクシート(2) 選択した神戸らしさ (① ・ ② ・ ③) 配布資料

共感度: 98 点 (おむね共感したら100を記入) (/ 班)

最も共感したキーワード・フレーズ		もっとワクワクする未来に必要なワード	
商業・業務機能	買い物・食事、非日常の体験	豊かな自然	三宮の空気も、キレイ
生活利便施設のリニューアル	魅力的なビジネス環境	買い物・食事	皆が笑顔で幸せ
暮らしの質を高める	公共交通網を維持	職住近接	選ばれる都市
生活利便施設のリアル	非日常の体験	充実したライフスタイル	多様な表情を見せるまち
自然を守る	市民の満足度	暮らしの質	自然と融合させる
充実したライフスタイル	公共交通網の維持	自然を守る	昔ながらの街並みと現代の街並みの融合・共存
公共交通網を維持	買い物・食事、自然を守る		

グローバルを取り入れた区画作り、非日常の体験、海外、国内、街並みのつながり、豊かな自然、ビジネスと観光、清潔感、女性にやさしい、治安がいい

STEP② それぞれが考える10年後の神戸をグループで共有

ワクワクシート(1) (1 班) 配布資料

神戸らしさ

①海と山に囲まれたみなとまち

②多様な表情をみせるまち

③人間らしいあたたかみのあるまち

④自然豊かなまち

⑤文化・芸術・スポーツのまち

⑥安全・安心・快適なまち

⑦国際的なまち

⑧未来のまち

ワクワクシート(1) (2 班) 配布資料

神戸らしさ

①海と山に囲まれたみなとまち

②多様な表情をみせるまち

③人間らしいあたたかみのあるまち

④自然豊かなまち

⑤文化・芸術・スポーツのまち

⑥安全・安心・快適なまち

⑦国際的なまち

⑧未来のまち

BE KOBE

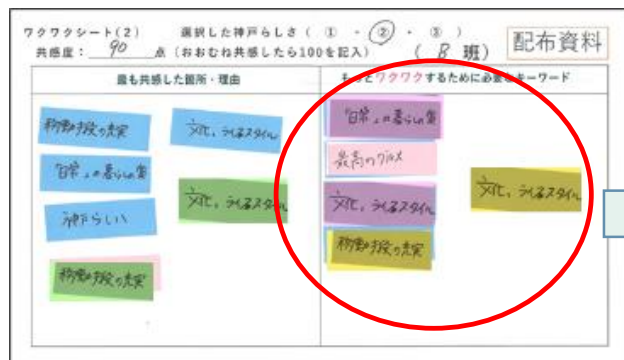
STEP① まちの歴史や現在の取り組み、市民の意見を反映した「方向性」を知る

取組の全体像 | 09

III. 意見収集の取り組み（収集意見の分析）

ワークショップを通じて頂いたご意見は、付箋を画像データ化する独自プログラムを活用し、AI-OCRでテキストデータ化することで、全ての意見を余すことなく分析しました。

①ワークシートをPDF化する



②独自プログラムを活用して付箋を個別の画像化

共感度： 90 点



③付箋単位の画像をAI-OCRでテキストデータ化

AI-OCR



④テキストデータはテキストマイニングで分析

ニュータウン
郊外 リニューアル
市民暮らし 商業
生活 個性 豊か 多彩
都市 交通 まち 充実 近接
守り維持 日常 公共 交流
ビジネス 自然 体験 選
守る 満足 魅力 なみ アート
ライフスタイル 施設
機能 環境 食事 表情
買い物 見せる

テキストマイニング等



⑤分析した内容をたたき台に反映

基本構想を実現するための方向性

次期「基本計画」たたき台※

方向性① 世界と繋がる2つの港
「新たな時代の国際都市」へ

神戸は、古くから外国との交流によって、多様な文化や気風を取り入れることで、まちを発展させてきました。空港の国際化によって、神戸は、さらに世界に開かれたまちになります。国内外から多様な人材や技術、文化を取り入れ、神戸の強みと融合を図ることで、人やまち、しごとと魅力を大きく成長させ、いつまでも「海と山に囲まれた美しいみなとまち」を守り育てていきます。

国内外から集まる多様な人材や企業と、市内の大学や企業、行政等が組織を超えてつながり、イノベーションを創出することで、独立した経済圏を支える「ものづくり」、「港湾」、「観光」、「医療・バイオ」等の既存産業の発展、新たな成長産業の創出を加速させ、東京一極集中が進む中においても、関西圏ひいては日本全体の経済成長をリードしていきます。

また、海と山が織りなす美しい風景や都心・ウォーターフロント再開発との相乗効果を活かし、魅力発信を強化することで、これまで培ってきたグローバル人材の受入機能や輩出機能を強化し、グローバル市場における神戸の存在感を高めていきます。

※R6年度に市民の皆様等から頂いた意見を基に一次作成

IV. 参考：神戸市基本構想（策定経緯）

BE KOBE

2023年7～12月

アンケート

約25,000名

第1弾 みんなの思う神戸の魅力 16,433名
第2弾 第1弾の結果を踏まえた深掘り 8,553名

エリア別ワークショップ

約250名

“神戸の魅力”や“未来の神戸でやってみたいこと”など具体エピソード



はじめての市政参画

約35,000名

市立の小中学校などの4年生以上
が思う神戸の魅力



神戸市
総合基本計画
審議会

意見集約
素案の作成

2024年12月

新しい
基本構想
完成

IV. 参考：神戸市基本構想

未来の「ありたい姿」

これまで神戸には多くのものが
受け継がれてきました
これから神戸は
世代や立場を超えた繋がりの中で
広く内外に貢献し
未来に向けて進んでいきます

培ってきた技術と知の集積により
時代を彩る産業とひとが育つまちへ
世界を臨む海や空からひとが集い
新たな価値の創造を実現するまちへ

誰もがひとに寄り添い、助け合いながら
それぞれの夢に挑戦できるまちへ
豊かな自然とひとの営みが織りなす
一人ひとりが幸せを感じられるまちへ

神戸は、いつまでもまちの誇りを育み
次代に紡いでいきます

目的
願い

未来に歩みを
進める指針

大きな方向性

「神戸の魅力・神戸らしさ」

神戸は、海と山に囲まれた
美しいみなとまちです
開港以来、海外との交流を重ね
文化や流行を日本に生みだしてきました

神戸は、多彩な表情を見せるまちです
都会と里山の共存
洗練されたまち並みと下町の活気
まちに溶け込む坂道も
毎日違う風景を見せてくれます

神戸は、人間らしい
あたたかみのあるまちです
ともに困難を乗り越えていく絆
多様性があふれる開かれた気風
いつでも神戸は
すべてのひとをやさしく包み込みます

人間らしい
あたたかみのあるまち

多彩な表情を
みせるまち

海と山に囲まれた
美しいみなとまち

2. 動画に込めたいメッセージ

- I. 新たな「総合基本計画」の特色
- II. 意見収集の意義・成果
- III. 動画の目的と求めるメッセージ
- IV. 参考：関連動画

I. 新たな「総合基本計画」の特色

● 現在の姿勢課題と方向性

- ✓ 全国的な人口減少や少子高齢化等をはじめとした、時代の潮流の激しい変化に対応する必要性
- ✓ 市民と行政が目指すべき神戸の姿や方向性を明確にし、**長期的な視点をもって、ともに運営していくことが求められる。**

計画策定の軸

策定段階から広範に意見を募り、
「市民とともに作る」

● 従来計画からの大きな方針転換

従来計画

内容が詳細（ボリュームが大きい）

- ・ 詳細に示されている一方、社会情勢の変化等により一部が形骸化
- ・ 計画・内容の認知度が低い



次期計画

内容の明確化・重点化

- ・ 分かりやすく市民に浸透しやすい内容に
- ・ 基本構想・基本計画で基本の理念や10年間の方向性を示し、下位計画(実施計画)で具体の施策を示すことで、市政の機動性を高める

II. 意見収集の意義・成果

- 次期基本計画の策定にあたっては、幅広い分野・年齢層を対象に意見収集を行い、総勢5万人を超える市民・関係者が参画
- 参加した方から「市政に触れることができて良かった」や「今後も機会があれば神戸の未来を考える取組みに参画したい」といった声が多数

今回の取組みは単なる意見収集にとどまらず...

市政に触れる機会がなかった人たちが
「神戸を知り、神戸の未来をともに考える」機会の創出につながった

市政への期待・意識向上

改めて「神戸のまち」について知り、
未来につながるまちづくりを考えること
で市政参画の意識が向上

シビックプライドの醸成

特に次世代を担う子どもたちが、神戸のまちへの誇りや愛着を持つきっかけになった

Ⅲ. 動画の目的と求めるメッセージ

● 動画の目的

- ✓ 市民とともに市政を運営していくため、まちづくりの指針の共有（次期基本計画の周知・浸透）
- ✓ 計画が完成したら終わりではなく、次期基本計画策定を通じた機運の高まりを、引き続き更なる**市政参画への意識向上、シビックプライドの醸成**につなげ、基本構想の目的である「**まちの誇りを育み、次代に紡ぐ**」の達成を目指す

目標

神戸に誇りと愛着を持った市民・関係者を増やす

目的

まちの誇りを育み、次代に紡ぐ

● 動画に求めるメッセージ

- ✓ 市のまちづくりの基本となる次期基本計画は、多くの市民・関係者の思いがかたちになったものであること
- ✓ 今後も、**神戸は「市民とともにまちづくりを進めていく」**こと

Ⅲ. 動画の目的と求めるメッセージ

○動画の想定活用シーン（例示）

①学校での出張授業や、企業・団体等での意見交換会

次期基本計画の内容を紹介し、それぞれが神戸のために自分たちで
きることを考えるワークショップ等を実施し、その中で動画を放映す
ることで、次期基本計画の説明補助や、市政への期待感や参画意識の
向上、シビックプライドの醸成を図っていくツールとして活用

②神戸市ホームページ、YOUTUBE等の広報媒体への掲載

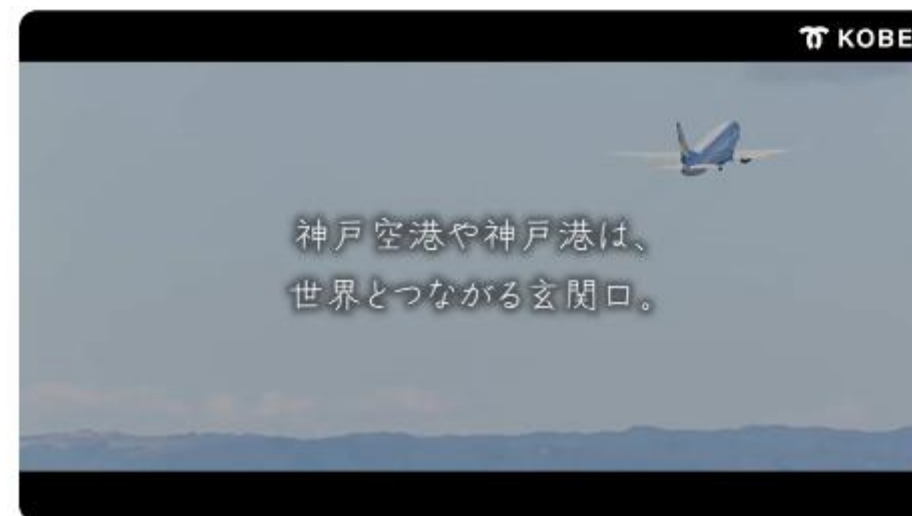
次期基本計画を広く知ってもらうためにHP等に掲載

- 神戸市基本構想 紹介動画



<https://www.youtube.com/watch?v=h92yt7Oa8Hc>

- 10年後の神戸（基本計画）



<https://www.youtube.com/watch?v=aSWT3L-4F1A&t=6s>

3. 参考_意見の反映状況

- I. 「3つの方向性」
- II. 「**10年後の都市像**」

意見反映の状況

I. 「3つの方向性」

- 方向性① 世界と繋がる2つの港
「新たな時代の国際都市」へ
- 方向性② 個性豊かで多様な地域の融合
「日常と非日常が交わり続ける都市」へ
- 方向性③ とともに乗り越え育んだ絆
「いつまでも幸せを感じ、分かち合える都市」へ

意見の反映状況 方向性①

BE KOBE

Before

方向性① 世界と繋がる2つの港「新たな時代の国際都市」へ

神戸は、古くから外国との交流によって、多様な文化や気風を取り入れることで、まちを発展させてきました。空港の国際化によって、神戸は、さらに世界に開かれたまちになります。国内外から多様な人材や技術、文化を取り入れ、神戸の強みと融合を図ることで、人やまち、しごとの魅力を大きく成長させ、いつまでも「海と山に囲まれた美しいみなとまち」を守り育てていきます。

国内外から集まる多様な人材や企業と、市内の大学や企業、行政等が組織を超えてつながり、イノベーションを創出することで、独立した経済圏を支えるものづくり、港湾、観光、医療・バイオ等の既存産業の発展、新たな成長産業の創出を加速させ、東京一極集中が進む中においても、関西圏ひいては日本全体の経済成長をリードしていきます。

また、海と山が織りなす美しい風景や都心・ウォーターフロント再開発との相乗効果を活かした魅力発信を強化することで、これまで培ってきたグローバル人材の受入機能や輩出機能を強化し、グローバル市場における神戸の存在感を高めていきます。

After

青色は共感が多かった箇所
赤字が追加・修正した箇所

方向性① 世界と繋がる2つの港「新たな時代の国際都市」へ

神戸は、古くから外国との交流によって、多様な文化や気風を取り入れながら、まちを発展させてきました。空港の国際化により、神戸は国内外とのつながりがより一層強化されます。多様な人材・技術・文化を取り入れ、神戸の強みと融合せることで、人・まち・しごとの魅力を高め、これからも「海と山に囲まれた美しいみなとまち」を守り育てながら、世界に開かれたまちとして、持続的な発展を目指します。

多様な文化や人との交流を促進し、グローバルに活躍する人材を育み、受け入れ、そして神戸への想いを胸に世界へ羽ばたいていく流れを加速させていきます。

また、海と山が織りなす美しい風景や豊かな自然・文化との調和などの魅力に加え、都心・ウォーターフロント再開発による相乗効果を活かしながら、国内外への神戸の魅力発信を強化していきます。

さらに、国内外から集まる多様な人材や企業と、市内の大学や企業、行政等が組織を超えてつながり、イノベーションを創出することで、独立した経済圏を支えるものづくり、港湾、農水産、食、観光、医療・バイオ等の既存産業の発展、新たな成長産業の創出を加速させ、東京一極集中が進む中においても、関西圏ひいては日本全体の経済成長をリードしていきます。

こうした機能強化により、神戸の国際的な存在感を高め、新たな時代の国際都市として、市民の暮らしをより豊かにしていきます。

Before

方向性② 個性豊かで多様な地域の融合 「日常と非日常が交わり続ける都市」へ

神戸の地理的特性や歴史の中で形作られた個性豊かなまちなみや、豊かな自然は、神戸ならではの魅力です。今後、全国的に人口減少が進む中でも、先人たちがこれまでの歴史の中で築いてきた貴重な財産を最大限に活かし、磨いていくことで、将来世代が充実したライフスタイルを送れるよう、いつまでも「多彩な表情を見せるまち」を守り育てていきます。

三宮など都心の中心部では居住機能を一定抑制しながら、商業・業務機能を集め、国内外から多くの人が集まり、買い物やアート、食事など非日常の体験や、魅力的なビジネス環境を提供する場を目指していきます。

また、既成市街地やニュータウンでは、まちの顔である駅を中心に、生活利便施設のリニューアルや、職住近接の取り組みなどにより、暮らしの質を高めます。さらに、六甲山等の森林や、農村・里山地域の豊かな自然を守りながら、郊外とニュータウンの交流を進め、郊外のライフスタイルをより魅力的なものにするとともに、多彩なまちなみをつなぐ公共交通網を維持することで、市民の満足度を高め、ひいては内外の人や社会から選ばれる都市を目指します。

After

青色 は共感が多かった箇所
赤字 が追加・修正した箇所

方向性② 個性豊かで多様な地域の融合 「日常と非日常が交わり続ける都市」へ

神戸の地理的特性や歴史の中で形作られた個性豊かなまちなみや、豊かな自然は、神戸ならではの魅力です。今後、全国的に人口減少が進む中でも、先人たちがこれまでの歴史の中で築いてきた貴重な財産を最大限に活かし、磨いていくことで、将来世代が充実したライフスタイルを送ることができるよう、これからも「多彩な表情を見せるまち」を守り育てていきます。

都心部では居住機能との調和を図りながら、商業施設や業務機能を集積させていきます。国内外から多くの人を訪れ、買い物やアート、食事など五感を刺激する体験ができる場を創出します。また、魅力的なビジネス環境の整備も進めていきます。

既成市街地やニュータウンでは、まちの顔である駅を中心に、生活利便施設のリニューアルや、職住近接の取り組みを進めます。さらに、商店街などに息づく下町文化を活かし、まちの魅力と暮らしの質を高めていきます。

また、海や山、農村・里山地域など、神戸が誇る豊かな自然を守りながら、市街地との交流を促進することで、自然と調和するまちの魅力を高めていきます。

そして、こうした多彩なまちなみをつなぐ公共交通網を維持・充実させ、それぞれの日常と非日常が交わる都市空間を実現することで、市民の満足度を高め、いつまでも住み続けたいと思えるまちへ、そして、国内外から愛され選ばれる都市を目指します。

Before

方向性③ ともに乗り越え育んだ絆

「いつまでも幸せを感じ、分かち合える都市」へ

これまでの歴史によって培われた進取の気風や、ともに災害を乗り越えてきた絆は、神戸のまちと人に受け継がれてきました。今後、先行きが不透明な変化の激しい時代においても、誰もが寄り添って助け合い、そして、新たな挑戦を続けていくことで、いつまでも「人間らしいあたたかみのあるまち」を守り育てていきます。

神戸の未来を担う子どもたちをはじめ、性別、年齢、障害の有無、民族、国籍に関わらず多様な主体や団体が、地域の中でつながり、支え合いながら、誰もが安心して、それぞれの夢に向かって自由に挑戦できるまちを目指していきます。

また、子育て・教育環境の充実や、健康・福祉の増進、安全なすまい・住環境の提供などにより、誰もが安心して暮らせる環境をつくとともに、新たなテクノロジーや技術を積極的に取り入れながら、次代をリードする防災力を強化や地球環境に貢献する質の高い暮らしを実現させます。さらに、それらの取り組みを世界に発信することで、震災で頂いた多くの支援に、いつまでも感謝の気持ちを忘れることなく、国内外に貢献していくまちを目指します。

After

青色は共感が多かった箇所
赤字が追加・修正した箇所

方向性③ ともに乗り越え育んだ絆

「いつまでも幸せを感じ、分かち合える都市」へ

これまでの歴史によって培われた進取の気風や、ともに災害を乗り越えてきた絆は、神戸のまちと人に受け継がれてきました。今後、先行きが不透明な変化の激しい時代においても、誰もが寄り添って助け合い、そして、新たな挑戦を続けていくことで、いつまでも「人間らしいあたたかみのあるまち」を守り育てていきます。

神戸の未来を担う子どもたちをはじめ、性別、年齢、障がいの有無、民族、国籍に関わらず多様な主体や団体が、地域の中でつながり、支え合いながら、誰もが安心して、それぞれの夢に向かって自由に挑戦でき、主役になれるまちを目指していきます。

また、子育て・教育環境の充実、健康・福祉の増進や、安全で快適な住環境を支えることで、一人ひとりの笑顔を育み、誰もが安心して健やかで心穏やかに暮らせる環境をつくりまします。さらに、新たなテクノロジーと先進技術を積極的に取り入れながら、地球環境への貢献や次代をリードする防災力を強化し、より豊かで質の高い暮らしを実現させます。

そして、それらの取り組みを世界に発信することで、震災で頂いた多くの支援に、いつまでも感謝の気持ちを忘れることなく、国内外に貢献していくまちを目指します。

意見反映の状況

Ⅱ. 「10年後の都市像」

Before

神戸空港や神戸港は、世界とつながる玄関口。そこには、絶えず人とモノが集まり、多様な文化と活気が行き交う。

都心には、おしゃれで心地よい雰囲気と、温かなもてなしの心が広がる。周辺には便利で快適な交通網が整い、新たな人々が次々と訪れ、活発な交流が生まれることで、まちの魅力はさらに増していく。

郊外へ足を伸ばせば、魅力的な駅を中心に、それぞれの理想のライフスタイルが形となり、ゆとりと上質なくらしが広がる。

山から望めば、先人から受け継いだ自然豊かな農村や里山、古くからの景勝地が悠然と広がり、夜には世界に誇れる美しい夜景が街を幻想的に彩る。海に向かえば、港町の歴史と文化を感じながら、ジャズの音色に身をゆだね、贅沢な時間に包まれる。

ビジネスシーンでは、最先端のアイデアと熱意が交差し、新たな価値が次々と芽吹き、未来を切り拓く力がみなぎる。

街のいたるところで、異なる世代や多様な人々が集い、支え合い、こどもの笑顔と人の温もりがまちに安らぎをもたらす。

人々の暮らしは、たくましく築かれたまちの礎によって守られ、それぞれの環境を思いやる行動が、次世代の安心を生み出す。

そして、まちの誇りが、人々に根付く神戸を愛する心によって育まれ、次代に紡がれていく。

After

青色は特に共感が多かった箇所
灰色は共感が多かった箇所
赤字が追加・修正した箇所

神戸空港や神戸港は、世界とつながる玄関口。そこには、絶えず人やモノ、**情報**が集まり、多様な文化が行き交うことで、**新たな風が吹く**。

都心には、おしゃれで心地よい雰囲気と、温かなもてなしの心が**あふれる**。周辺に**広がる**交通網によって、**人と人の出会いと交流がうまれ、まちの魅力がさらに深まる**。

くらし息づく街では、個性豊かな駅を中心に、それぞれの理想のライフスタイルが形となり、ゆとりある上質な時間が流れる。

山から望めば、先人から受け継いだ農村や里山、**豊かな自然**が悠然と広がり、夜には世界に誇れる美しい夜景が幻想的に彩る。海に向かえば、汽笛や潮風に迎えられ、**ジャズを育んだ**港町の歴史と文化**芸術**にふれながら、贅沢な時間に包まれる。**食は、自然の恵みと人に育まれ、いつでも人々の心を満たす**。

しごとや学びの場では、経験と新たな挑戦が融合し、未来を切り拓く力がみなぎる。

街のいたるところで、異なる世代や多様な人々が集い、支え合い、**こどもたちの笑い声と皆の笑顔があふれ、まちのあたたかみが安らぎをもたらす**。

人々の暮らしは、**困難を乗り越え、築いてきた**、たくましい礎によって守られ、それぞれの環境を思いやる行動が、**次世代への**安心を生み出す。

そして、まちの誇りは、神戸を**愛する人々の心によって**育まれ、**力強く**次代に紡がれていく。